

# ぎふと本POPの利用について

「2025イチオシ!ぎふと本」POPのご利用ありがとうございます  
以下の点にご留意いただきご利用ください

- ▶POPは2デザインあります。お好みの方をご利用ください。
  - ・リボンデザイン(2~18枚目)
  - ・ポスターとお揃いデザイン(19~35枚目)
- ▶ポスターとお揃いデザインは、Canvaで作成したものを画像化して添付してあります。  
そのため、申し訳ありませんが改変できません。
- ▶5位以下の作品について、個人で自由に作成される方のために、両方のデザインに作成用のスライドがあります。こちらは自由にご利用ください。
- ▶印刷について  
こちらのPowerPointのファイルをPDFで保存し、お好きな4枚をA4用紙1枚に集約して印刷していただくと、POPにちょうどよい大きさになります。お試しください。  
(PowerPointで集約印刷するより余白が小さくなります)

大賞

## 謎の香りはパン屋から



土屋うさぎ／著（宝島社）

- ◇図書館員としては「食べながら図書館の本を読む」ことはおススメしたくないのですが、思わず作中のパンを片手に謎解きをしたくなるのが悩ましいところです。
- ◇ミステリーと言っても日常の些細なことで、パン屋のほんわかした空気感がいいです。
- ◇登場人物たちが持つ「弱点・欠点」が話のカギを握る。青春小説としても、ミステリーとしても楽しめます。
- ◇1話1話が謎解きのようなストーリーになっているが、パンがよく出てきて幸せな気持ちになる。  
また、ストーリー自体も登場人物があまり変わらないため、すらすらと読める。

大賞



# 謎の香りはパン屋から

土屋うさぎ／著（宝島社）

図書館員としては「食べながら図書館の本を読む」ことはおススメしたくないのですが、思わず作中のパンを片手に謎解きをしたくなるのが悩ましいところです。

大賞

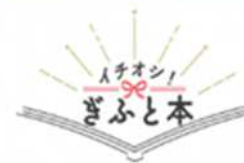


# 謎の香りはパン屋から

土屋うさぎ／著（宝島社）

ミステリーと言っても日常の些細なことで、パン屋のほんわかした空気感がいいです。

大賞



# 謎の香りはパン屋から

土屋うさぎ／著（宝島社）

登場人物たちが持つ「弱点・欠点」が話のカギを握る。青春小説としても、ミステリーとしても楽しめます。

大賞

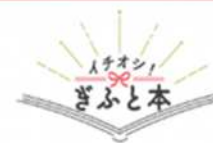


# 謎の香りはパン屋から

土屋うさぎ／著（宝島社）

1話1話が謎解きのようなストーリーになっているが、パンがよく出てきて幸せな気持ちになる。また、ストーリー自体も登場人物があまり変わらないため、すらすらと読める。

2位



# 僕には鳥の言葉がわかる

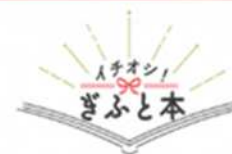
鈴木俊貴／著（小学館）

◇言葉を持つのは、本当に人間だけなのでしょうか。  
動物言語学者が、愛すべきシジュウカラの生態を通して、その謎に迫ります。何かを成し遂げるためには、地道な努力と諦めない心が必要であることを教えてくれる一冊です。巻末には、鳥の声が聞ける二次元コードも掲載されているので、ぜひアクセスしてください。

◇観察から得た気づきが学問上の大発見につながる、そんな研究の醍醐味が伝わってきて最後までワクワク読めてしまう。

◇言葉を持つのは人間だけと言われていたが、20以上の単語を組み合わせ文を作っているというシジュウカラの言語能力を発見した、動物学者の科学エッセイ。

2位

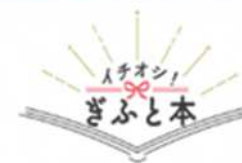


# 僕には鳥の言葉がわかる

鈴木俊貴／著（小学館）

言葉を持つのは、本当に人間だけなのでしょうか。  
動物言語学者が、愛すべきシジュウカラの生態を通して、  
その謎に迫ります。何かを成し遂げるためには、地道な努力と諦  
めない心が必要であることを教えてくれる一冊です。  
巻末には、鳥の声が聞ける二次元コードも掲載されているので、  
ぜひアクセスしてください。

2位

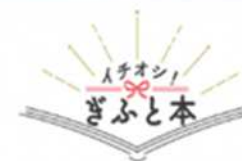


# 僕には鳥の言葉がわかる

鈴木俊貴／著（小学館）

観察から得た気づきが学問上の大発見につながる、そんな研究の醍醐味が伝わってきて最後までワクワク読めてしまう。

2位



# 僕には鳥の言葉がわかる

鈴木俊貴／著（小学館）

言葉を持つのは人間だけと言われていたが、20以上の単語を組み合わせて文を作っているというシジュウカラの言語能力を発見した、動物学者の科学エッセイ。

2位



## 本を読んだことがない32歳が はじめて本を読む

走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚

かまど, みくのしん／著（大和書房）

◇本をよく読む人にも、まったく読まない人にも、ぜひ手に取ってほしい一冊です。勉強に苦手意識のあるみくのしんさんが、読書好きのかまどさんの助けを借りながら、音読と登場人物に感情移入するという、これまでにないスタイルで4つの作品に挑戦する読書体験記です。

まさか『走れメロス』で、こんなに笑うことになるなんてー。そんな驚きと発見に満ちた本です。

◇知っているはずの話がこんなにも楽しく読める!読み始めたら止まらない、なんとも新鮮な読書体験ができました。

2位



## 本を読んだことがない32歳が はじめて本を読む

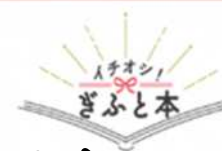
走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚

かまど, みくのしん／著（大和書房）

本をよく読む人にも、まったく読まない人にも、ぜひ手に取ってほしい一冊です。勉強に苦手意識のあるみくのしんさんが、読書好きのかまどさんの助けを借りながら、音読と登場人物に感情移入するという、これまでにないスタイルで4つの作品に挑戦する読書体験記です。

まさか『走れメロス』で、こんなに笑うことになるなんてー。  
そんな驚きと発見に満ちた本です。

2位



本を読んだことがない32歳が  
はじめて本を読む

走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚

かまど, みくのしん / 著 (大和書房)

知っているはずの話がこんなにも楽しく読める！  
読み始めたら止まらない、なんとも新鮮な読書体  
験ができました。

4位



## その本はまだルリユールされていない

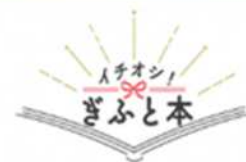
坂本葵／著（平凡社）

◇司法書士の夢を諦め、小学校の学校司書として働き始めた主人公が、「ルリユール工房」で出会った人々とともに、傷ついた人生を少しずつ立て直していく物語。静かに心を癒してくれる、優しさに満ちた世界です。

◇主人公たちの目を通して製本という美しい物づくりを見ていると、今の私達にもこんな丁寧なひとつの事と向き合う時間が必要なのではと感じた。自分を取り戻すために。

◇非正規で小学校の学校司書として働く主人公とルリユール工房に興味を惹かれて読んでみました。美しい装丁の本を集める趣味はないけれど、1年もかけて手製本する本ってどんなにすばらしいのか見てみたいと思いました。また、この本を読んで人の顔が区別できない病気で苦しんでいる人がいることを初めて知りました。

4位

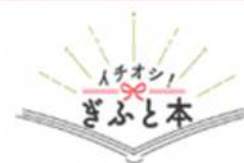


## その本はまだルリユールされていない

坂本葵／著（平凡社）

司法書士の夢を諦め、小学校の学校司書として働き始めた主人公が、「ルリユール工房」で出会った人々とともに、傷ついた人生を少しずつ立て直していく物語。静かに心を癒してくれる、優しさに満ちた世界です。

4位

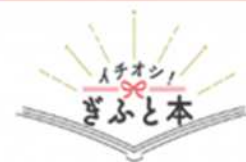


## その本はまだルリユールされていない

坂本葵／著（平凡社）

主人公たちの目を通して製本という美しい物づくりを見ていると、今の私達にもこんな丁寧のひとつの事と向き合う時間が必要なのではと感じた。  
自分を取り戻すために。

4位

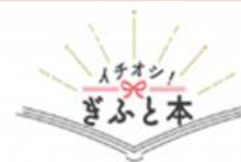


## その本はまだルリユールされていない

坂本葵／著（平凡社）

非正規で小学校の学校司書として働く主人公とルリユール工房に興味を惹かれて読んでみました。美しい装丁の本を集める趣味はないけれど、1年もかけて手製本する本ってどんなにすばらしいのか見てみたいと思いました。

また、この本を読んで人の顔が区別できない病気で苦しんでいる人がいることを初めて知りました。



(タイトルを入力)

(著者名) / 著 (出版社)

(コメントを入力)



# 大賞



## 『謎の香りはパン屋から』

土屋うさぎ／著（宝島社）

- ◇図書館員としては「食べながら図書館の本を読む」ことはおススメしたくないのですが、思わず作中のパンを片手に謎解きをしたくなるのが悩ましいところです。
- ◇ミステリーと言っても日常の些細なことで、パン屋のほんわかした空気感がいいです。
- ◇登場人物たちが持つ「弱点・欠点」が話のカギを握る。青春小説としても、ミステリーとしても楽しめます。
- ◇1話1話が謎解きのようなストーリーになっているが、パンがよく出てきて幸せな気持ちになる。また、ストーリー自体も登場人物があまり変わらないため、すらすらと読める。



# 大賞



## 『謎の香りはパン屋から』

土屋うさぎ／著（宝島社）

図書館員としては「食べながら図書館の本を読む」ことはおススメしたくないのですが、思わず作中のパンを片手に謎解きをしたくなるのが悩ましいところです。



大賞



## 『謎の香りはパン屋から』

土屋うさぎ／著（宝島社）

ミステリーと言っても日常の些細なことで、  
パン屋のほんわかした空気感がいいです。



# 大賞



## 『謎の香りはパン屋から』

土屋うさぎ／著（宝島社）

登場人物たちが持つ「弱点・欠点」が  
話のカギを握る。青春小説としても、  
ミステリーとしても楽しめます。



# 大賞



## 『謎の香りはパン屋から』

土屋うさぎ／著（宝島社）

1話1話が謎解きのようなストーリーになっているが、パンがよく出てきて幸せな気持ちになる。また、ストーリー自体も登場人物があまり変わらないため、すらすらと読める。

2位



## 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴／著（小学館）

◇言葉を持つのは、本当に人間だけなのでしょうか。

動物言語学者が、愛すべきシジュウカラの生態を通して、その謎に迫ります。何かを成し遂げるためには、地道な努力と諦めない心が必要であることを教えてくれる一冊です。

巻末には、鳥の声が聞ける二次元コードも掲載されているので、ぜひアクセスしてください。

◇観察から得た気づきが学問上の大発見につながる、そんな研究の醍醐味が伝わってきて最後までワクワク読めてしまう。

◇言葉を持つのは人間だけと言われていたが、20以上の単語を組み合わせで文を作っているというシジュウカラの言語能力を発見した、動物学者の科学エッセイ。

2位



## 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴／著（小学館）

言葉を持つのは、本当に人間だけなのでしょうか。

動物言語学者が、愛すべきシジュウカラの生態を通して、その謎に迫ります。

何かを成し遂げるためには、地道な努力と諦めない心が必要であることを教えてくれる一冊です。

巻末には、鳥の声が聞ける二次元コードも掲載されているので、ぜひアクセスしてください。

2位



## 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴／著（小学館）

観察から得た気づきが学問上の大発見につながる、そんな研究の醍醐味が伝わってきて最後までワクワク読めてしまう。

2位



## 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴／著（小学館）

言葉を持つのは人間だけと言われていたが、  
20以上の単語を組み合わせて文を作っている  
というシジュウカラの言語能力を発見した、  
動物学者の科学エッセイ。

2位



# 『本を読んだことがない32歳が はじめて本を読む』

走れメロス・一房の葡萄  
杜子春・本棚

かまど, みくのしん／著 (大和書房)

◇本をよく読む人にも、まったく読まない人にも、ぜひ手に取ってほしい一冊です。勉強に苦手意識のあるみくのしんさんが、読書好きのかまどさんの助けを借りながら、音読と登場人物に感情移入するという、これまでにないスタイルで4つの作品に挑戦する読書体験記です。

まさか『走れメロス』で、こんなに笑うことになるなんてー。そんな驚きと発見に満ちた本です。

◇知っているはずの話がこんなにも楽しく読める！読み始めたら止まらない、なんとも新鮮な読書体験ができました。

2位



# 『本を読んだことがない32歳が はじめて本を読む』

走れメロス・一房の葡萄  
杜子春・本棚

かまど, みくのしん／著 (大和書房)

本をよく読む人にも、まったく読まない人にも、ぜひ手に取ってほしい一冊です。勉強に苦手意識のあるみくのしんさんが、読書好きのかまどさんの助けを借りながら、音読と登場人物に感情移入するという、これまでにないスタイルで4つの作品に挑戦する読書体験記です。

まさか『走れメロス』で、こんなに笑うことになるなんてー。  
そんな驚きと発見に満ちた本です。

2位



『本を読んだことがない32歳が  
はじめて本を読む』

走れメロス・一房の葡萄  
杜子春・本棚

かまど, みくのしん／著 (大和書房)

知っているはずの話がこんなにも楽しく読める！  
読み始めたら止まらない、なんとも新鮮な読書体  
験ができました。

4位



## 『その本はまだ ルリユールされていない』

坂本葵／著（平凡社）

◇司法書士の夢を諦め、小学校の学校司書として働き始めた主人公が、「ルリユール工房」で出会った人々とともに、傷ついた人生を少しずつ立て直していく物語。静かに心を癒してくれる、優しさに満ちた世界です。

◇主人公たちの目を通して製本という美しい物づくりを見ていると、今の私達にもこんな丁寧なひとつの事と向き合う時間が必要なのではと感じた。自分を取り戻すために。

◇非正規で小学校の学校司書として働く主人公とルリユール工房に興味を惹かれて読んでみました。美しい装丁の本を集める趣味はないけれど、1年もかけて手製本する本ってどんなにすばらしいのか見てみたいと思いました。また、この本を読んで人の顔が区別できない病気で苦しんでいる人がいることを初めて知りました。

4位



『その本はまだ  
ルリユールされていない』

坂本葵／著（平凡社）

司法書士の夢を諦め、小学校の学校司書として働き始めた主人公が、「ルリユール工房」で出会った人々とともに、傷ついた人生を少しずつ立て直していく物語。静かに心を癒してくれる、優しさに満ちた世界です。

4位



『その本はまだ  
ルリユールされていない』

坂本葵／著（平凡社）

主人公たちの目を通して製本という美しい物づくりを見ていると、今の私達にもこんな丁寧のひとつの事と向き合う時間が必要なのではと感じた。  
自分を取り戻すために。

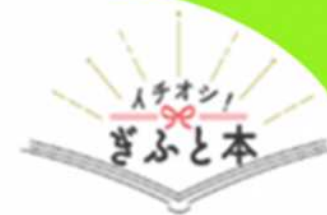
4位



『その本はまだ  
ルリユールされていない』

坂本葵／著（平凡社）

非正規で小学校の学校司書として働く主人公とルリユール工房に興味を惹かれて読んでみました。美しい装丁の本を集める趣味はないけれど、1年もかけて手製本する本ってどんなにすばらしいのか見てみたいと思いました。また、この本を読んで人の顔が区別できない病気で苦しんでいる人がいることを初めて知りました。



(タイトルを入力)

(著者名・出版社を入力)

(コメントを入力)